

1. 木質バイオマス関連情報

■(株)イクロス(大阪)、木質バイオマスボイラに発電機を組み合わせた出力約300kWの発電システムを開発。同社が開発・販売する「バイラーシリーズ」の蒸気式ボイラはこれまで1t/hの蒸気生産だったが、大手ボイラメーカーと技術提携し、3.5~4.5t/hの能力にまで高めた。蒸気タービンとバイナリー式発電機を組み合わせることで、エネルギー回収率が7割超に。最大の特徴は、燃料が建築廃材チップからRPF、RDF、竹チップまで対応可能な点。第一号機を今年12月に新潟県新発田市内に着工予定。発電に必要な蒸気を生産する自社製ボイラを4機設置し、発電出力は約1,100kWに上る見通し。来年秋頃稼働を目指す【(株)イクロス：2017/09/08】

<http://www.kankyo.icross.co.jp/news/2017/70669/>

■電力広域的運営推進機関(OCCTO)(東京)、九州電力と四国電力管内において「下げ調整力不足」(下げ代不足)になったと想定し、同管内で稼働する再生可能エネルギー発電事業者に対する出力抑制の訓練を9月15日に実施。「下げ調整力」(下げ代)とは、電力需要に対して供給電力が余剰となった場合に火力発電の出力を下げたり、揚水発電を汲み上げたりするなど、需給バランスを改善するために使う調整力のこと。ある電力供給区域で調整力が不足した場合、優先給電ルールに基づきOCCTOの主導で他の供給区域の調整力を活用した「長周期広域周波数調整」を実施。それでも供給過剰となる場合、まずバイオマス発電を出力抑制し、次に太陽光や風力の自然変動性再生可能エネルギーの出力を抑制する。今回の訓練では実際の出力抑制は実施しない。一般送配電事業者9社(北海道、東北、東京PG、中部、北陸、関西、中国、四国、九州)、四国と九州エリアの発電事業者が訓練に参加【日経テクノロジーonline：2017/09/14、電力広域的運営推進機関：2017/09/08】

<http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/news/16/091409168/>
https://www.occto.or.jp/oshirase/sonotaoshirase/2017/170908_sagechouseiryoku_kunren.html

■(株)リコー(東京)、静岡県御殿場市と先端技術開発等に係る包括的連携協定を締結。同社は1985年に御殿場市に生産

拠点を設立、2016年にはリコー環境事業開発センターを新たに開所し、市と共同で地元の間伐材を利用する木質バイオマスエネルギーの地産地消モデルをスタートするなど、個別のテーマについて既に連携して取り組んでいる。このセンターを中心に開発しているリコーの先進技術を活用し、同市が推進する「エコガーデンシティ構想」の実現に向けた動きを加速させるのが狙い。自然環境の保全や環境教育の推進、再生可能エネルギー普及など地球温暖化対策等に関する事項で連携していくとし、例として「未利用間伐材などバイオマス利活用の推進」も挙げている【(株)リコー：2017/09/13】

http://jp.ricoh.com/release/2017/0913_1.html?ga=2.183671846.1039843031.1506402791-782343208.1506402791

■三重県知事、9月12日の定例会見で新たに林業大学校を設立する方針を明らかに。2019年度に社会人対象の「みえ森林・林業アカデミー」を創設する。現場の担い手だけでなく、全国でも珍しい林業経営者を育成するコースもあり、中山間地の活性化につなげる。林業や製材業などに携わる人が対象。経営者、中間管理職、現場従事者とそれぞれの役割に応じた三コースのほか、森林・林業施策に精通した市町職員を育てる講座も用意。キャンパスは津市白山町の県林業研究所内に設け、働きながら通えるようにする【中日新聞：2017/09/13】

<http://www.chunichi.co.jp/article/mie/20170913/CK2017091302000021.html>

■丸紅(株)(東京)、FITを追い風に国内の新しいバイオマス発電所が一斉に稼働するため、2021年3月期に燃料の輸入量を17年3月期の10倍の量に増やす予定。シンガポールに販売会社をつくりベトナムから調達、インドネシアなどでも新たに調達先を探す【日本経済新聞：2017/09/15】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ021158150U7A910C1TJ2000/?ct=ga>

■(株)神戸製鋼所(兵庫)、石炭火力発電所で下水汚泥を燃料の一部として取り入れるとともに、つくった電力で燃料電池

車（FCV）向け水素製造へ。神戸市で稼働中の同社の第3高炉を年内に休止させ、その跡地に平成33～34年度、石炭火力発電設備2基（出力計130万kW）を建設する予定。新発電所では主に兵庫県内の下水処理場から出る下水汚泥を石炭と混焼させるとともに、発電分の一部を用いて水を電気分解して水素を製造。神戸市内に「水素ステーション」を開設し、FCV約50台/日分の水素を供給する計画で、CO₂削減と大気環境の改善に貢献できるとしている【産経WEST：2017/09/19】

<http://www.sankei.com/west/news/170919/wst1709190011-n1.html>

■宮城県の仙台港に進出計画が相次ぐ火力発電所に反対する「仙台港の石炭火力発電所を考える多賀城・七ヶ浜・塩釜の会」が結成総会を9月30日に開催。仙台港には、来月本格稼働を目指す石炭火力発電所「仙台パワーステーション(11.2万kW)」をはじめ、石炭バイオマス混焼火力発電所「仙台高松発電所(仮称)(11.2万kW)」と、木質バイオマス発電所「仙台バイオマス(仮称)(約7.5万kW)」の三つの計画がある。これらに対し3市町の住民から排出ガスに含まれるCO₂や微小粒子状物質(PM2.5)による大気汚染、排水による海水温上昇に伴う漁業への影響などを懸念する声が上がっている。会は住民の健康や自然環境を守るための運動を進める【河北新報：2017/09/19】

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201709/20170919_13021.html

■オムロン(株)(京都)、グループの関係会社であるオムロンソーシャルソリューションズ(株)(東京)とオムロンフィールドエンジニアリング(株)(同)が、京都府宮津市と「再生可能エネルギー地産地消とまちの活性化」に関する包括連携協定を締結。連携協力の主な内容は「再生可能エネルギーの普及拡大に関すること」や「市内施設等におけるエネルギーの利活用に関すること」等で、エネルギーを主軸として幅広く宮津市の社会課題解決を目指す【オムロン(株)：2017/09/20】

<http://www.omron.co.jp/press/2017/09/c0920.html>

■ビル解体用機械大手のオカダアイオン(株)(大阪)、(株)南星(熊本)から(株)南星機械(同)、(株)南星ウインテック(同)及び曉機工(株)(同)の発行済み株式の全てを取得し、子会社化することについて決議(9月19日)。10月2日には同社の発行済み株式を全て取得し、連結子会社化した。買

収額は8億円。国内では木材チップなどを燃料とするバイオマス発電の需要が拡大しており、自らが輸入販売するチップ製造機械に加え、運送機械なども手掛けることで顧客への提案力を強化し、収益基盤を広げる【日本経済新聞：2017/09/20、オカダアイオン(株)】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ02129656019092017LKB000/>

<http://www.aiyon.co.jp/>

■ごみ収集車などを製造する富士車両(株)(滋賀)、林業の現場などで木質チップを作り、そのまま運搬できるチップングロータリープレス車「CUTICK(キュティック)」を開発。全国的に急増するバイオマス発電所向けにチップの製造所を介さずに山林から燃料を直接運ぶことができる。一般的な間伐材から竹まで対応可能。処理能力は約1,500kg/h、チップサイズは約2～5cm、投入口は150mm(ガイド使用時は120mm)【日本経済新聞：2017/09/21、富士車両(株)】

<https://www.nikkei.com/article/DGXKZ02132336020092017X42000/>

<https://www.fujicar.com/>

■横浜市環境創造局(神奈川)は「よこはま動物園ズーラシア」(同)にバイオマス施設を整備できるかどうか検討を開始。繁殖センターの暖房に使う灯油ボイラを、木質チップが主な燃料のハイブリッド型へ更新することをイメージしている【建通新聞：2017/09/21】

http://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/170921400029.html

■鹿児島県、同県内施設での木質バイオマス利用によるCO₂排出削減量認証実績について公表。同県は、木質バイオマス利用によるCO₂排出削減量を環境貢献度として「見える化」し、地球温暖化防止に対する認識を深めるとともに木質バイオマス燃料の利用促進を図るため、2013年度より認証を実施している。今回は鹿児島大学附属病院木質チップボイラ施設の削減量(223t-CO₂)、南種町河内温泉センターの木質チップボイラ施設の削減量(190t-CO₂)、(株)南薩木材加工センターの木くず炊きボイラ施設の削減量(195t-CO₂)、姶良市温泉センターくすの湯の薪ボイラ施設の削減量(431t-CO₂)の4件を2017年度以降認証したものとして発表【鹿児島県：2017/09/21】

<http://www.pref.kagoshima.jp/ad02/kurashi-kankyo/kankyo/on>

■ (株) ゲンボク (徳島)、同県小松島市金磯町に「バイオマス発電施設」を新築するため、山一興業 (株) (同) の施工で 8 月末に着工。規模は木造 2 階建て延べ約 996 m² 【建通新聞：2017/09/22】

http://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/170921200010.html

■ (株) タクマ (兵庫)、(株) 日本海水 (東京) 向けバイオマス発電設備を受注。日本海水は 2014 年度に同社赤穂工場において、老朽化した製塩用ボイラの更新にあたり第 1 バイオマス発電所を建設しており、今回の発電設備で 2 件目。PKS やこれまで有効に活用されてこなかった樹皮、間伐材等の未利用材等を燃料として利用する予定。発電出力は 30,000kW。発電した電気は FIT 制度の設備認定を受け、電気事業者への売電を計画。2020 年 6 月完成予定 【(株) タクマ：2017/09/26】

<http://www.takuma.co.jp/news/2017/20170926.html>

■ 林野庁、2016 年の木材需給に関するデータを集約・整理した「木材需給表」を取りまとめ。2016 年の木材自給率が前年比 1.6 ポイント増の 34.8%だったと発表。2011 年から 6 年連続で上昇しており、1986 年と並ぶ 30 年ぶりの高水準。2016 年に稼働を始めたバイオマス発電所は全国で 17 カ所に達し、木材チップ等「燃料材」の国内生産量は前年に比べ 59%伸びた。木造住宅の新設着工戸数が 8%増だったことも追い風となった 【日本経済新聞、林野庁：2017/09/26】

https://www.nikkei.com/article/DGXLASFS26H31_W7A920C1E8000/?ct=ga

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/170926.html>

■ (株) 門脇木材 (秋田) と (株) タケエイ (東京) が共同出資した「秋田グリーン電力」(秋田県大仙市) が、大仙市と立地に関する協定を締結 (9 月 26 日) し、地鎮祭を実施。木質バイオマス発電事業の拠点となる発電所を門脇木材協和工場に隣接する同社子会社「秋田バイオマスチップ」の敷地 1 万 3,000 m² に建設する。最大出力は 7,050kW、年間発電量は一般家庭約 1 万 5,000 世帯分に相当する 5,500 万 kWh を見込む。地元の木材を中心に調達し、秋田バイオマスチップが年間 8 万 t の燃料用チップを生産して発電所に供給する予定。発電した電力は東北電力への売電のほか、小売電気事業者に販売する予

定。また秋田グリーン電力は電力小売り事業への参入も検討している。10 月から着工し、2018 年 12 月頃の完成を目指す。

発電開始は 2019 年 2 月を予定。県は協定締結と同日、秋田グリーン電力を誘致企業に認定している。総事業費は 33 億円 【(株) タケエイ：2017/09/26、秋田魁新報：2017/09/27】

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1516055>

<http://www.sakigake.jp/news/article/20170927AK0010/>

■ 経産省、バイオマス発電の買い取り価格に入札制導入を検討開始。輸入した木質チップなど「一般木材」を燃やす出力 2 万 kW 以上の大規模なバイオマス発電が対象で、低い価格で提示した事業者から認定し、価格を抑える。国民負担抑制に向けた検討策の一つ。他にも既存の石炭火力発電所を転用するなら買い取り対象から外すなど、計画の認定要件も厳しくする 【日本経済新聞：2017/09/27】

https://www.nikkei.com/article/DGXLASFS23H0B_X20C17A9EE8000/?ct=ga

■ (株) エフオン (東京)、和歌山県新宮市での木質バイオマス発電事業推進を決定。同社グループは既に「日田発電所 (大分県日田市)」、「白河発電所 (福島県白河市)」、「豊後大野発電所 (大分県豊後大野市)」を稼働させており、2019 年稼働予定の「壬生発電所 (栃木県壬生町)」を入れると 5 つ目。単なるエネルギー源としての目的だけでなく、木質燃料の購入・消費を通じた多岐にわたる産業復興効果、地域経済における雇用・産業振興、また再生可能エネルギーとして地球環境を考慮した純国産木材で電気を供給するという本来の意義を実現するために、木質バイオマス発電設備の新設開発に加え、周辺分野への投資を拡大していく。「新宮発電所 (仮)」の定格出力は 18,000kW、年間発電量は 122,000MWh/年、燃料使用量は約 18 万 t/年。総投資額約 100 億円。事業開始時期は 2021 年中の予定 【(株) エフオン：2017/09/27】

<http://www.ef-on.co.jp/ir/library/pdf/others/170927003.pdf>

■ IEA (国際エネルギー機関) が “RENEWABLES INFORMATION: OVERVIEW (2017edition)” を 7 月に発表。2015 年の世界全体の一次エネルギー供給における再エネ比率は (石油 31.8%、石炭 28.1%、天然ガス 21.6%に次ぐ) 13.4%。その再エネ比率における構成はバイオマス 70.7%、水力 18.3%、その他 11.1%。一方 2015 年の世界全体の電力供給における再エネ比率は 22.8%、そ

の構成は水力 70.2%、バイオマス 8.3%、その他 21.1%となっている。世界全体の再エネ事情を俯瞰すると、一次エネルギー供給ではバイオマスが、電力供給では水力が圧倒的に多いとわかる【BIGLOBE ニュース：2017・09/27】

https://news.biglobe.ne.jp/economy/0927/gdw_170927_8929702758.html

■NEDO、「バイオマスエネルギー地域自立システムの導入要件・技術指針」を公表。FIT 制度における電力買取は時限的であり、買取期間が終了する 20 年後にはバイオマスエネルギー事業が継続しないというような事態を避けるため、FIT 制度に依存しない、長期的に持続可能なバイオマスエネルギー事業を目指すことが重要であるとしている。国内の森林由来の「木質系バイオマス編」と畜産農業由来の「湿潤系バイオマス編」に分け、事業者や有識者へのヒアリング調査ならびに関連する参考資料に基づき、バイオマスエネルギー事業への参入を検討する事業者が事業計画を作成する際に留意すべき点および考慮すべき情報をとりまとめている。ホームページよりダウンロード可【NEDO：2017/09/28】

http://www.nedo.go.jp/library/biomass_shishin.html?from=nedomail

■総務省、「地域経済循環創造事業交付金（分散型エネルギーインフラプロジェクト）」に関する交付予定団体を決定し、公表。同プロジェクトでは、「地方公共団体を核として、需要家、地域エネルギー会社及び金融機関等、地域の総力を挙げて、バイオマス、廃棄物等の地域資源を活用した地域エネルギー事業を立ち上げるマスタープランの策定を支援」するとしている。今回選ばれたのは北海道札幌市、秋田県八郎潟町、大分県竹田市の 3 市町で交付額は計約 3,900 万円。札幌市（交付額 10,822,000 円）は、清掃工場でごみを焼却する際の熱を IT を使って地域で有効活用する。八郎潟町（同 13,333,000 円）は木質バイオマス発電施設を整備し、マガモの飼育やウナギ養殖を進める。竹田市（同 15,000,000 円）は養豚のふん尿を利用するバイオガス発電施設を建設し、発生した熱を公共施設などで活用する【総務省：2017/09/28、Sankei Biz：2017/09/29】

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei05_02000087.html

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/170929/mca170929050003-n1.htm>

■経産省、今年度最初の調達価格等算定委員会（第 30 回）を

9 月 28 日に開催。今後の FIT の運用等に関する主な論点整理に加え、バイオマスについての具体的な議論を開始。2 万 kW 以上の一般木木材等燃焼発電は今年 10 月から買取価格が 24 円/kWh から 21 円/kWh に引き下げられるため認定量が急増しており、問題点として議論された。2017 年 3 月時点でこのカテゴリーのバイオマス発電の認定量は 1,147 万 kW、4 月以降 9 月までの駆け込み申請がさらに積み増される可能性が高く、2030 年のベストミックス目標の 3 倍以上の認定量になることはほぼ確実。さらに輸入バイオマスへの依存度が大きいことも示された。事務局はこうした実態を踏まえ、「燃料費が 7 割を占めるバイオマス発電は、FIT からの自立が可能なのか」、「燃料安定供給の持続可能性をいかに確保すべきか」等の問題点を提示。2 万 kW 以上の大規模な一般木質バイオマス・農業残さによる発電は、2019 年度まで 21 円/kWh と決まっており、算定委員会では「あらためて向こう 3 年間の買取価格を検討する必要がある」とし、その際には「来年度・再来年度の既決事項との関係を整理することが必要」とした【日経テクノロジー online：2017/09/29、経産省：2017/09/28】

<http://techon.nikkeibp.co.jp/atcl/news/16/092909376/?P=1>
http://www.meti.go.jp/committee/shotatsu_kakaku/030_haifu.html

■芝浦工業大学(東京)材料工学科の石崎貴裕教授らが、植物や木に含まれる成分（セルロース）からグルコース（バイオエタノールを得るための中間材料）への変換を効率的に促進するための画期的なカーボン固体酸触媒を新開発。ソリューションプラズマ（溶液中で低温非平衡のプラズマを発生させる）技術を用いてカーボン材料を処理することにより、短時間かつ低コスト、低環境負荷でカーボン固体酸触媒を得ることが可能に。これにより、サトウキビやトウモロコシといった食料系バイオマスを使わずに済むだけでなく、従来法よりもバイオエタノールを大量に製造できるようになることが期待できる【芝浦工業大学：2017/09/29】

<http://www.shibaura-it.ac.jp/news/2017/40170137.html>

■日本学術会議（東京）、日本における再生可能エネルギーの大量普及に向けた取り組みのあり方を長期的視野から審議した結果をまとめた報告「再生可能エネルギー利用の長期展望」を 9 月 26 日に公表。報告は、「再生可能エネルギー利用の現状と超長期展望」と「超長期に向けた国の再生可能エネルギー政策のあり方」の 2 項目で構成されている。バイオマスの長期展

望では、「原料事情から元来小規模分散型エネルギーであり、地域の実情に応じて原料供給の安定化を図ることが課題」であり、「今後はより小型で分散可能な熱電併給システムに向けた技術開発やカスケード利用のための仕組み、流通の構築が求められる」としている。政策のあり方ではFIT後の再生可能エネルギーの在り方について、「技術開発を促す政策により、再生可能エネルギーコストの低減を図りながら効果的、効率的かつ安定的に普及を図る政策が重要」としている。またバイオマス等のエネルギー利用にあたっては自然資源の保全と環境に与える影響軽減が重要であるとし、「例えば『再生可能な自然資源の持続可能な利用に関する法律』（仮称）といった新たな法制度を設けることも構想されるべき」としている【日本学術会議：2017/09/26、環境ビジネスオンライン：2017/09/29】

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-h170926.pdf>

<https://www.kankyo-business.jp/news/015738.php>

■（株）エンバイオ・ホールディングス（東京）、バイオマスパワーテクノロジーズ（株）（三重）が第三者割当増資により発行するA種優先株式3,000株を引き受け、その出資金（総額3,000万円）の払込手続が完了したと発表。同社はこれまで太陽光発電事業や東南アジアにおけるバイオマス発電事業に取り組んできたが、今回の出資により国内でのバイオマス発電事業への知見の蓄積や未利用材確保のためのチャンネル構築ができ、更なる自然エネルギー事業の拡大を狙う。また東南アジアにおけるバイオマス発電事業との技術的連携や人的コラボレーションも目指す【（株）エンバイオ・ホールディングス：2017/09/29】

<http://enbio-holdings.com/ir>

■（株）日本政策投資銀行（以下DBJ）（東京）、（株）シーエナジー（愛知）およびフルハシEPO（株）（愛知）が愛知県半田市において共同で取り組むバイオマス発電事業に対し融資を実施。シーエナジーおよびフルハシEPOは2017年4月27日に特別目的会社「CEPO半田バイオマス発電（株）」（愛知）を設立。CEPOは建設廃材等由来の木質リサイクルチップとPKSを燃料とする出力50MWのバイオマス発電所建設を計画しており、2019年10月に運開予定。DBJは東海地域における再生可能エネルギー事業振興という観点から融資を実施【（株）日本政策投資銀行：2017/09/29】

http://www.dbj.jp/ja/topics/dbj_news/2017/html/000002841

[6.html](#)

■岐阜県高山市荘川町猿丸の道の駅「桜の郷荘川」にある温泉施設「桜香の湯」で9月29日、木質バイオマスボイラが稼働開始。施設を管理する高山市と協定を結んだ地元企業の（株）井上工務店（同市）が事業を進めた。桜香の湯は灯油を燃料としていたが、このうち八割は木質バイオマス燃料に替わる。原料の木材は全て市産材で、うち荘川町産を30%以上使う。バイオマスボイラ導入により、灯油代を2割/年削減できるとしている【中日新聞：2017/09/30、47News：2017/03/08】

http://chuplus.jp/paper/article/detail.php?comment_id=492580&comment_sub_id=0&category_id=131&from=local&category_list=131

<http://www.47news.jp/photo/1563580.php>

■愛知県豊橋市神野新田町の市公共下水道汚泥処理施設・中島処理場で10月1日、市バイオマス利活用センターの完工式を開催。同センターは下水道汚泥と市内で出る生ごみ、し尿・浄化槽汚泥のバイオマスをメタン発酵処理し、発生したガスを発電に利用。一般家庭約1,890世帯分に相当する年間約680万kWhを発電、中部電力に販売する。発酵後に残った汚泥も石炭代替の炭化燃料に活用される。同事業で約1万4,000t/年のCO₂削減効果がある上、市資源化センターで処理している生ごみ、し尿・浄化槽汚泥が中島処理場に集約、処理されるようになり、処理コストが20年間で約120億円縮減できる見込み。センターは民間の資金とノウハウを活用するPFI手法を採用。特別目的会社「豊橋バイオウィル」（代表企業・JFEエンジニアリング）が建設し、稼働後20年間にわたって維持管理、運営する。敷地内には太陽光発電も整備。整備費と維持管理・運営費を含めた事業費は約148億円【東愛知新聞：2017/10/02】

<http://www.higashiaichi.co.jp/news/detail/1746>

■イーレックス（株）（東京）および同社と米国ナスダック上場スパークエナジー社との合弁会社「イーレックス・スパーク・マーケティング（株）（以下ESM）」（東京）が、10月1日より日本経済新聞販売協同組合（東京）と「ニュースサービス日経でんき」の販売を開始。イーレックスはPKSを燃料とするバイオマス発電を行っており、現在稼働中の高知県と大分県の2基以外にも多数増設中。日本経済新聞社及び協力会社の発行する新聞、雑誌、出版物の販売を行う販売店の協同組合である日本経済新聞販売協同組合の独自の販売網を活かし、ESMの電

気を販売・提供していく。提供エリアは関東、東北、中部、関西、中国、四国及び九州。提供する電力は従量電灯 A/B 相当、従量電灯 B/C 相当及び、低圧電力相当の電力【Sankei Biz : 2017/10/03、イーレックス (株) : 2017/09/20】

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/171003/pr1710031052058-n1.htm>

<https://www.erec.co.jp/news/information/750/>

■平成 25 年度より関係 7 府省（内閣府、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省）が共同で推進しているバイオマス産業都市について、新たに 11 市町村を選定。バイオマス産業都市とは、原料生産から収集・運搬、製造・利用まで、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域を指す。今回選定された地域は以下の通り：北海道滝上町・中標津町・鶴居村、青森県西目屋村、山形県飯豊町、宮城県色麻町、栃木県大田原市、群馬県上野村、京都府京都市、広島県東広島市、山口県宇部市【農水省 : 2017/10/03】

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/171003.html>

■三井物産 (株) (東京) が、9 月 29 日に (株) 洗陽電機 (兵庫) に出資比率約 20.5% で出資したことを公表。また同社と同社 100% 子会社の三井物産フォーサイト (株) (東京)、洗陽電機の 3 社による業務提携契約を締結。洗陽電気は太陽光・バイオマス等の再生可能エネルギーを中心とした電源開発・施工を行うエンジニアリング力に強みを持ち、電力小売り等も提供している。三井物産は電力等エネルギー需要家のニーズに応える「総合ファシリティサービス事業」の展開を目指しており、三井物産フォーサイトは近年、太陽光・バイオマス発電所の運転保守管理等エネルギーマネジメント事業に注力している。三井物産らは戦略的パートナーとして機能補完関係を築き、事業の飛躍的成長を目指す【三井物産 (株) : 2017/10/04】

https://www.mitsui.com/jp/ja/release/2017/1224669_10838.html

■プラント建設・エネルギー事業の (株) タカフジ (大分)、日本各地で予定されているバイオマス発電所向け PKS の市場参入へ。インドネシアのスマトラ島ブンクル州で、石炭などを扱う ASA グループをパートナーとし、現地子会社「PT. ASA

TAKAFUJI INTERNATIONAL (タカフジグループ 55% 出資)」を設立。今夏、港湾から数百メートル地点にストックパイルを設置。主に近隣ミルからの集荷を進めている。直近の情報では、ブンクルのストックパイルには既に 1 万数千 t の PKS が貯留され、ユーザーも内定したもよう、年内にも第一船がスマトラから出航する見通し【OSR No.294 : 2017/10/04、(株) タカフジ】
<http://www.takafuji-gr.co.jp/business/development/>

■真庭観光連盟 (岡山) が「バイオマスツアー真庭」を紹介するホームページや啓発チラシを一新。生ごみなどから作ったバイオ液肥の農業利用を視察する循環農業コースの新設といった、6 月からのツアーのリニューアルに対応したもの。木質バイオマスコースでは従来オプションでの見学だった真庭バイオマス発電所が通常ルートに入った。ホームページやチラシには新たな見どころの紹介やツアー開催日、参加料等を掲載し、新ツアーの魅力を PR している【バイオマスツアー真庭 : 2017/10/05】

<http://biomass-tour-maniwa.jp/media/1057/>

■住友商事 (株) (東京)、100% 子会社のサミットエナジー (株) (東京) を通じて愛知県半田市に建設を進めていた半田バイオマス発電所の商業運転を開始。同発電所はサミットエナジーによって 2012 年 12 月に設立されたサミット半田パワー (株) を事業主体として建設・運営を行うもので、発電容量は 7.5 万 kW。稼働しているバイオマス専焼発電所としては国内最大規模。バイオマス燃料は木材チップや PKS 等の取り扱いにおいて豊富な実績と知見を有する住友商事の生活資材・不動産本部を窓口として、国内外から幅広く調達。発電した電気はサミットエナジーを通じ、電力需要家向けに販売する【住友商事 (株) : 2017/10/05】

<http://www.sumitocorp.co.jp/news/detail/id=30318?tc=bx>

■10 月 8 日に告示された佐賀市長選で、現職の秀島敏行氏 (75) が無投票 4 選に。出馬の最大の理由はバイオマス事業で、「3 期総仕上げ」と言っていたが事業をつなぐために 4 期目に手を上げた。「藻類の大量培養だけでなく、藻類の成分を原料とする化粧品や健康食品の会社が集積し、新たな雇用が生まれたいという期待感を持っている」と述べている。任期中に産業集積の道筋を付ける考え【佐賀新聞 LIVE : 2017/10/09】

<http://www.saga-s.co.jp/articles/-/134265>

2. ペレット関連情報

■伊藤忠商事（株）（東京）、大阪ガス（株）（大阪）、三井造船（株）（東京）と千葉県市原市の三井造船千葉事業所内の敷地において、バイオマス発電所建設を決定し、3社の共同出資による事業運営会社「市原バイオマス発電（株）」を設立したと発表。三井造船が施工および運転・保守、伊藤忠商事がバイオマス燃料の供給を行い、大阪ガスの発電所運営の知見を組み合わせることで、各社の強みを活かした安定的な事業運営を行うとしている。発電所の建設および運転に要する資金の一部はノンリコースのプロジェクトファイナンスによる調達を予定。発電容量は49.9MW、使用燃料はPKSと木質ペレット。2020年10月運転予定【伊藤忠商事（株）：2017/09/15】

<https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2017/170915.html>

■産業機械メーカーの清本鉄工（株）（宮崎）と子会社の（株）フォレストエナジー門川（同）が、宮崎県工業技術センターと共同で灰が固まらない樹皮ペレットを開発。バイオマス原料の樹皮ペレットは、ボイラで燃焼中に灰が溶融・固化し炉に付着する難点があるが、添加剤を配合し融点を上げることで解消。宮崎県はスギ丸太生産量全国1位。製材後に残る大量の樹皮の有効活用が期待される【日本経済新聞：2017/09/15】

<https://www.nikkei.com/article/DGXLZ021144450U7A910C1LX0000/?ct=ga>

■日本ペレットストーブ工業会（岐阜）、東京でペレットストーブの販売・設置事業者を対象に「第1回ペレットストーブ設置研修会」を開催（9月14日）。研修会には全国から約30名が参加。北越融雪（株）（新潟）、（有）河西（神奈川）、みちのく資源開発（株）（青森）、豊実精工（株）（岐阜）、（有）シモタニの担当者が各メーカーのペレットストーブ設置基準および安全基準について解説。その後ペレットクラブ運営委員がペレット燃料の解説及び省エネ基準の説明を行い、最後は煙突部材、設置時等の便利道具の紹介が行われた。工業会は今後、研修会を例年行事にする考え【OSR NO.292：2017/09/20、日本ペレットストーブ工業会】

<http://pstove.jp/>

■ポータブルピザ窯「Uuni 3」、アメリカで発売中。Uuni 3は庭先やキャンプ場といった屋外でホームバイクピザを作れる、木質ペレットが燃料のピザ窯。ステンレス製のボディと、目をひ

く長い煙突がオシャレな作りとなっている。Uuni3は10分で500℃に達するため、トッピングの具材を問わず、わずか1分でピザを焼くことができるのが特徴。重さは13.4kg、サイズは22x36x64cm、煙突を含めた高さは67cm。電力は約6kWh。本体価格は299ドル、公式サイトで直販されている【Excite ニュース：2017/09/22、uuni North America】

http://www.excite.co.jp/News/it_lf/20170922/Lifehacker_201709_170922-home-party-item.html

<https://uuni.net/collections/frontpage/products/uuni-3>

■関西電力（株）（大阪）、富山県黒部市宇奈月町の黒部川水系弥太蔵谷川における「弥太蔵谷発電所（仮称）」の建設と、福岡県都郡苅田町におけるバイオマス事業を推進するための新会社の設立を決定したと発表。福岡県でバイオマス発電事業を推進するための新会社は「バイオパワー苅田合同会社（仮称）」で、2017年11月中に設立予定。新松山臨海工業団地内において、出力約75,000kW、発電電力量約4億8,880万kWh/年のバイオマス発電所の建設を計画するもので、燃料は木質ペレット等海外バイオマス燃料。2019年3月に着工、2021年10月営業運転開始を目指し、検討を進める。同発電所の建設が実現すれば、同社グループ単独としては朝来バイオマス発電所に次ぎ2箇所目のバイオマス発電所となるとともに、関西エリア以外としては初のバイオマス発電所となる【関西電力（株）：2017/09/26】

http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2017/0926_1j.html

■丸紅（株）（東京）、化成品、特殊品、セメントなどの製造販売等を行っている（株）トクヤマ（山口県周南市）の徳山製造所敷地内において、バイオマス混焼発電所を建設・運営する事業に参画へ。100%子会社の丸紅火力（株）（東京）を通じて、トクヤマ、東京センチュリー（株）（東京）との3社間で株主間協定書を締結（9月29日）。環境影響評価（環境アセスメント）は完了済み。発電所の出力は300MW、電力は100%出資子会社の丸紅新電力（株）（東京）が行う電力小売り事業において新たに活用する。燃料は木質ペレットを使用し、バイオマスの混焼比率は15～20%程度。バイオマス混焼に加えトクヤマに対する蒸気供給も行なうことで、より環境に配慮した設備運営を行っていく方針。2017年10月より建設工事準備に着手、2022年営業運転開始を目指す【丸紅（株）、日本経済新聞：

2017/09/29】

<http://www.marubeni.co.jp/news/2017/release/00037.html>

https://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ29HWU_Z20C17A9TJ1000/?ct=ga

■イーレックス（株）（東京）、同社グループ3か所目となるバイオマス発電所「豊前バイオマス発電所」の起工式を実施。同事業は福岡県豊前市の九州高圧コンクリート工業（株）

（福岡）敷地内に PKS および木質ペレット（計約 30 万 t/年）を主燃料とするバイオマス発電所を建設・運営するというもの。定格出力 74.95MW、年間発電量は約 500,000 MWh。2015 年 10 月に九電みらいエナジー（株）（福岡）、豊前開発環境エネルギー（株）（同）、九州高圧との間で同事業の検討に関する合意書を締結し、同事業の準備会社として豊前ニューエナジー合同会社をイーレックス 100%出資で設立。豊前市の協力のもと開発を進めている。商業運転は 2019 年 10 月開始予定【イーレックス（株）：2017/10/05、2016/10/14】

<https://www.erec.co.jp/news/information/801/>

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1406674>

■イーレックス（株）（東京）の 100%出資子会社「沖縄うるまニューエナジー（株）」（沖縄）が、うるま市勝連の国際物流拠点産業集積地域の用地売買契約を県と締結したと発表。バイオマス発電所としては県内最大級となる約 4 万 9,000kW を出

力できる「中城バイオマス発電所」を建設する。燃料には主に東南アジアから輸入する PKS や木質ペレットを使用。電力は沖縄ガス（株）（沖縄）との合弁会社「（株）沖縄ガスニューパワー」（同）が全量を契約者へ供給する。年間売電量は約 33 万 MWh で、一般家庭 10 万世帯分の年間消費電力に相当。完成は 2021 年 3 月を予定し、同 4 月の営業運転開始を目指す【日本経済新聞：2017/10/10、琉球新報：2017/10/11】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ022080500Q7A011C1LX0000/?ct=ga>

<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-591556.html>

■国際レベルでのバイオエネルギー技術のポテンシャル、障壁、貿易等に焦点を当てて活動している IEA の国際ワーキンググループ「IEA Bioenergy Task 40」が、「Global Wood Pellet Industry and Trade Study 2017」を公表。2011 年に出した「Global Wood Pellet Industry Market」の内容を更新し、木質ペレットの世界的な市場動向および国際貿易についての新たな知見を含めた。ペレットの世界市場は 2011 年以降、年平均増加率が 14%と、劇的に増加し続けている。ペレット生産ではヨーロッパ南東部の国々、ペレット消費では東アジアの国々といったように、双方で新規の市場参入国があり、ペレットの国際貿易は増加している。大陸間では英米間の取引が大勢を占めるが、非産業用途では欧州内でのビジネスが主流となっている、とのこと。報告書はホームページよりダウンロード可【IEA Bioenergy Task40：2017 年】
<http://task40.ieabioenergy.com/>

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

場所 六本木アカデミーヒルズオーディトリウム（東京都港区）

◎NPO 法人農都会議農都交流・地域支援 G「いばらきサポーター養成塾 東京サテライト

<http://japan.ahk.de/jp/events/ahk-events/event-detail-ue/events/%E6%97%A5%E7%8B%AC%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%A%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%A0-2017/?cHash=292341d98e0f1603b0b055ed7c8eb42e>

『いばらき塾 キックオフミーティング』

月日 2017 年 10 月 16 日（月）

場所 港区ばるーん 2 階 205 号室（東京都港区）

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/174>

◆在日ドイツ商工会議所「日独バイオエネルギーフォーラム 2017」

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所「SIP リグニン 2017 公開シンポジウム：材料利用を可能とするリグニンの正体—森林資源を活用する地域導入型ニュービジネス—」

月日 2017 年 10 月 17 日（火）

月日 2017年10月18日(水)
場所 石垣記念ホール(東京都港区)
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2017/20170904/index.html>

◆びわ湖環境ビジネスメッセ 2017

月日 2017年10月18日(水)~20日(金)
場所 長浜バイオ大学ドーム(滋賀県長浜市)
<https://www.biwako-messe.com/>

◆びわ湖環境ビジネスメッセ 2017 共催セミナー「エネルギーから経済を考える」

月日 2017年10月18日(水)
場所 長浜バイオ大学ドーム(滋賀県立長浜ドーム)セミナー室1(滋賀県長浜市)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/f/eneshin/hodo/e-shinbun/cg00/20170907.html>

◆石川県「いしかわ木育セミナー(第2回)」

月日 2017年10月18日(水)
場所 金沢大学「角間の里」(石川県金沢市)
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shinrin/mokuzai/documents/chirashi.pdf>

◆農水省「バイオマス産業都市認定証授与式」

月日 2017年10月19日(木)
場所 農林水産省本館3階第1特別会議室(ドアNo.335)(東京都千代田区)
<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/171003.html>

◆四国総合通信局、他「林業とICT利活用セミナー in 神山」

月日 2017年10月19日(木)
場所 徳島県神山町役場2階会議室「すだち」(徳島県名西郡神山町)
<http://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/press/20170922.html>

◎ペレットクラブ「2017年度総会・事業者部会」

月日 2017年10月20日(金)10時30分~12時
場所 アットビジネスセンター東京駅(東京都中央区)
<http://www.pelletclub.jp/library/2017/09/post-13.php>

※閉会後に懇親会を開催(18時~、@東京駅付近)

◆NPO日本スターリングエンジン普及協会「第11回スターリングエンジン講演会~小規模分散バイオマスビジネスへの誘い~」

月日 2017年10月20日(金)
場所 都道府県会館401号室(東京都千代田区)
http://www.eco-stirling.com/files/leaflet_11th-lecture.pdf

◎(株)ライフガーデン「PELLETSTOVE EXPO MIYAGI 2017」

月日 2017年10月20日(金)~21日(土)
場所 夢メッセみやぎ西館ホール(宮城県仙台市)
<http://pellet-sendai.com/>

◆東京都「第42回全国育樹祭 開催1年前キックオフフォーラム2017『国民参加の森林(もり)づくり』シンポジウム」

月日 2017年10月21日(土)
場所 木材会館(東京都江東区)
<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/08/07/08.html>

◆(公財)かながわトラストみどり財団「製材体験&木エワークショップ」

月日 2017年10月21日(土)※予備日10月28日(土)
集合 小田急線桜ヶ丘駅改札前(神奈川県大和市)
<http://ktm.or.jp/contents/event/h29/P-22.html>

◆福島県「第42回福島県林業祭」

月日 2017年10月21日(土)~22日(日)
場所 福島県林業研究センター(福島県郡山市)
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/h29ringyousai-00.html>

◆福島県第2回『福島県再エネスタディツアー』

月日 2017年10月21日(土)~22日(日)
場所 福島県内の再エネ発電所、工場等
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/energy29020.html>

◎(株)サンコー「とやまペレットストーブまつり」

月日 2017年10月22日(日)
場所 (株)サンコーショールーム、駐車場内(富山県富山市)
<http://www.sancoh-toyama.com/cms/wp-content/uploads/pell>

[et2017.pdf](#)

◆グリーンフェスティバル 2017 実行委員会「グリーンフェスティバル 2017」

月日 2017 年 10 月 22 日（日）

場所 霞ヶ浦総合公園（茨城県土浦市）

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/rinsei/keikaku/keikaku/15/green.html>

◆栃木県「とちぎ林業グランプリ 2017in みぶ」

月日 2017 年 10 月 22 日（日）

場所 北関東自動車道 みぶハイウェーパーク/とちぎわんぱく公園（栃木県壬生町）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d07/kouhou/ringyougurapur2017.html>

◆グリーン購入ネットワーク（GPN）「GPN 連続セミナー第 1 回『RE100 を牽引する企業が描くビジョンー再生可能エネルギーを選択する企業の実践事例』」

月日 2017 年 10 月 23 日（月）

場所 TKP 新橋カンファレンスセンター（東京都港区）

<http://www.gpn.jp/archives/gpnnews/archive/2017/09/001161.php>

◆原財団「省エネルギー・新エネルギー重点施策と平成 30 年度概算要求」

月日 2017 年 10 月 23 日（月）

場所 紀尾井フォーラム（東京都千代田区）

<https://expotoday.com/event/12119/>

◎APEC(アジア太平洋経済協力)ワークショップ「バイオペレット製造における取扱いとエネルギー利用」

月日 2017 年 10 月 24 日（火）

場所 （一社）日本エネルギー経済研究所内、大会議室（東京都中央区）

<https://biopelletworkshop.itri.org.tw/index-jp.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所「平成 29 年度森林総合研究所公開講演会『木を使って守る生物多様性』」

月日 2017 年 10 月 24 日（火）

場所 ヤクルトホール（東京都港区）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2017/20171024koukaikouenkai/index.html>

◆EVI 推進協議会（カルネコ〔株〕）【EVI 環境マッチングイベント 2017】持続可能な社会のための環境貢献最先端成功事例「私たちにできること。」

月日 2017 年 10 月 24 日（火）

場所 東京国際フォーラム（有楽町）B7 ホール（東京都千代田区）

<http://www.evic.jp/evi/event2017/tokyo1024/>

◆環境省「CDP 2017 気候変動・水・森林コモディティ 日本報告会」

月日 2017 年 10 月 24 日（火）

場所 国連大学「ウ・タント国際会議場」（東京都渋谷区）

<http://www.env.go.jp/press/104601.html>

◆独立行政法人国際協力機構（JICA）、他「森林ガバナンスイニシアティブ 国際セミナー」

月日 2017 年 10 月 24 日（火）～25 日（水）

場所 ホテルメトロポリタンエドモント（東京都千代田区）

<http://www.eorc.jaxa.jp/jjfast/topics/20170830.html>

<http://www.eic.or.jp/event/?act=view&serial=35740>

◆真庭観光連盟 バイオマスツアー真庭「バイオマス居酒屋」

月日 2017 年 10 月 27 日（金）

場所 割烹旅館おかもと（岡山県真庭市久世）

<http://biomass-tour-maniwa.jp/topics/1048/>

◆山梨県森林環境部「森林環境税を活用した成果報告『森林整備現場見学会』」

① 峡東地域コース

月日 2017 年 10 月 28 日（土）

場所 山梨市三富徳和

① 峡南地域コース

月日 2017 年 10 月 29 日（日）

場所 富士川町平林

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/sinkan-som/2909/genbakengakukai.html>

◆NPO 農都会議バイオマス WG 第 2 回官民交流勉強会「そこが知りたい！ 日本の環境・再生可能エネルギー政策 ～国産材の利用拡大に向けて、地域の森林資源をエネルギー供給源に」
月日 2017 年 10 月 30 日（月）
場所 港区神明いきいきプラザ 4 階集会室 A（東京都港区）
<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/172>

◆国際環境 NGO FoE Japan シンポジウム「気候変動難民-影響・対策・責任をどう考えるか」
月日 2017 年 10 月 30 日（月）
場所 日本橋ライフサイエンスハブ・ビルディング会議室 A（東京都中央区）
<http://www.foejapan.org/climate/lad/171030.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構「森林保険制度創設 80 周年記念シンポジウム」
月日 2017 年 10 月 31 日（火）
場所 学士会館（東京都千代田区）
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/g/ibento/ibento.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターシンポジウム「森林を育み森林を活かす森林整備技術」
月日 2017 年 10 月 31 日（火）
場所 三重県総合文化センター男女共同参画棟多目的ホール（三重県津市）
<http://www.green.go.jp/topics/2017081401.pdf?17082401>

◆（一社）産業環境管理協会「森林等の自然資本に関する SDGs 達成に向けたシンポジウム」
月日 2017 年 10 月 31 日（火）
場所 東海大学校友会館朝日・東海（霞が関ビル 35 階）（東京都千代田区）
<http://www.sankankai.com/sym171031.shtml>

◆NEDO「一バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業ワークショップ in 札幌-持続可能なバイオマスエネルギー事業の実現に向けて」
月日 2017 年 11 月 1 日（水）
場所 TKP 札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム 6A（北海道札幌市）
http://www.nedo.go.jp/events/FF_100096.html

◆京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座「2017 年度第 1 回再生可能エネルギー経済学講座シンポジウム」
月日 2017 年 11 月 2 日（木）
場所 一橋大学・一橋講堂中会議室（東京都千代田区）
http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/event/sympo2017-1

◆宮崎県林業技術センター創立 50 年記念公開イベント「森とのふれあい祭り」
月日 2017 年 11 月 3 日（金・祝）
場所 宮崎県林業技術センター森の科学館（宮崎県東臼杵郡美郷町）
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kankyo/shinrin/mfc/topics/topics_fureaimaturi.html

◆（一社）北海道造林協会北海道森林整備担い手支援センター「とかちの林業魅力体験ツアー」
月日 2017 年 11 月 3 日（金・祝）～4 日（土）
集合 JR 帯広駅北口（北海道帯広市）
https://www.shiencenter.or.jp/newinfo/details_tel0126-22-1155fax0126-22-1186.html

◆石川県「いしかわ木育セミナー（第 3 回）」
月日 2017 年 11 月 4 日（土）
場所 石川森林文化ホール 1 階多目的ホール（石川県金沢市）
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shinrin/mokuzai/documents/chirashi.pdf>

◆岐阜県立森林文化アカデミー「～日独林業シンポジウム 2017～100 年先の森林づくりを見据えた人材育成～」
月日 2017 年 11 月 7 日（火）
場所 岐阜グランドホテル・雪の間（岐阜県岐阜市）
<http://www.forest.ac.jp/abroad/jgfs2017/>

◆（株）新社会システム総合研究所「AgTech（農業×テクノロジー）×エネルギー～農業事業への新たな可能性～」
月日 2017 年 11 月 7 日（火）

場所 SSK セミナールーム（東京都港区）

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_17335.html

◆バイオマス産業社会ネットワーク(BIN) 第170回研究会「日本の石炭火力発電所新設計画の課題とバイオマス混焼等の問題」

月日 2017年11月8日（水）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）

<http://www.npobin.net/apply/>

◆NPO 法人農都会議農都交流・地域支援 G「飯能サポーター養成塾東京サテライト『はんのう塾 キックオフミーティング』」

月日 2017年11月8日（水）

場所 港区立エコプラザ3階 会議室 A（東京都港区）

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/177>

◆福島県「第6回 ふくしま復興 再生可能エネルギー産業フェア 2017」

月日 2017年11月8日（水）～9日（木）

場所 ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）

<http://reif-fukushima.jp/>

◎（一社）日本能率協会「第39回ジャパンホームショー」

月日 2017年11月15日（水）～17日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京国際展示場）（東京都江東区）

<http://www.jma.or.jp/homeshow/>

◆（独）中小企業基盤整備機構「新価値創造展 2017」

月日 2017年11月15日（水）～17日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京国際展示場）東7・8ホール（東京都江東区）

<https://shinkachi-portal.smrj.go.jp/event/shinkachi2017/>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度（後期）森林講座「木材とプラスチックを融合させてつくる新しい材料（混練型 WPC）」

月日 2017年11月17日（金）

場所 多摩森林科学園 森の科学館（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆（公財）日本下水道新技術機構「下水道新技術セミナー『地域バイオマスの展開』」

月日 2017年11月17日（金）

場所 大阪科学技術センター（大阪府大阪市西区）

<https://www.jiwet.or.jp/>

◆檜原村「檜原村で薪づくり体験～数馬の湯の薪をつくろう！～」

月日 2017年11月19日（日）

場所 東京都檜原村

<http://www.nw-mori.or.jp/?p=7802>

◆（一社）林業機械化協会第41回全国育樹祭記念行事「2017 森林・林業・環境機械展示・実演会」

月日 2017年11月19日（日）～20日（月）

場所 番の州臨海工業団地の県有地（香川県坂出市）

<http://www.rinkikyo.or.jp/>

◎ペレットクラブ 国際フォーラム 2017「バイオマス CHP の現状と未来」

月日 2017年11月21日（火）

場所 東京大学弥生講堂（東京都文京区）

<http://www.pelletclub.jp/>

◆林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」

月日 2017年11月23日（木）

場所 サンライフ南相馬（福島県南相馬市）

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/170905_33.html

◆（株）TAKESUMI「TAKESUMI × 薪まきカフェ 日本の里山を守ろう！」

月日 2017年11月25日（土）～12月29日（金）

場所 薪ストーブのあるコミュニティカフェ「薪まきカフェ」（東京都世田谷区）

<http://www.sankei.com/economy/news/170914/prl1709140071-n1.html>

◆（公財）日本下水道新技術機構「下水道新技術セミナー『地域バイオマスの展開』」

月日 2017年11月28日（火）

場所 発明会館（東京都港区）

<https://www.jiwet.or.jp/>

◆林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」

月日 2017年12月3日（日）

場所 明治大学駿河台キャンパス（東京都千代田区）

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/170905_33.html

◆林野庁特別展示「福島の森からイイモノ、お届け～がんばる福島産の木材・木製品・林産物～」

月日 2017年12月4日（月）～8日（金）

場所 林野庁 消費者の部屋（東京都千代田区）

<http://www.maff.go.jp/j/heyataenzi/attach/pdf/index-5.pdf>

◆（一社）産業環境管理協会、他「エコプロ 2017～環境とエネルギーの未来展～」

月日 2017年12月7日（木）～9日（土）

場所 東京ビッグサイト東ホール（東京都江東区）

<http://eco-pro.com/2017/>

◆石川県「いしかわ木育セミナー（第4回）」

月日 2017年12月9日（土）

場所 石川森林文化ホール1階多目的ホール（石川県金沢市）

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shinrin/mokuzai/documents/chirashi.pdf>

◆気候ネットワーク全国シンポジウム「市民が進める温暖化防止 2017」

月日 2017年12月9日（土）

場所 龍谷大学深草キャンパス 22号館-301教室（京都府京都市伏見区）

<http://www.kiconet.org/event/2017-12-09>

◆（公社）日本農芸化学会「微生物・バイオマス利用研究領域第1回シンポジウム『持続可能社会を支える微生物の力』」

月日 2017年12月10日（日）

場所 徳島大学常三島キャンパスけやきホール（徳島県徳島市）

http://www.jsbba.or.jp/science_edu/jsbba_100years/jsbba_100years_20171210.html

◎林野庁特別展示「木とストーブのある暮らし展」

月日 2017年12月11日（月）～15日（金）

場所 林野庁 消費者の部屋（東京都千代田区）

<http://www.maff.go.jp/j/heyataenzi/attach/pdf/index-5.pdf>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度（後期）森林講座「森から生まれる新たな資源ビジネス—木材成分リグニンで町おこし—」

月日 2017年12月20日（水）

場所 多摩森林科学園 森の科学館（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度（後期）森林講座「森の沢の水に放射性セシウムは含まれているのか？」

月日 2018年1月19日（金）

場所 多摩森林科学園 森の科学館（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆低炭素杯事務局（〔一社〕地球温暖化防止全国ネット）「第8回低炭素杯 2018」

月日 2018年2月15日（木）

場所 日経ホール（東京都千代田区）

<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/entry.php>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度（後期）森林講座「ドイツの人々の森の楽しみ方」

月日 2018年2月16日（金）

場所 多摩森林科学園 森の科学館（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆リードエグジビジョンジャパン（株）「スマートエネルギー Week 2018」

月日 月日 2018年2月28日（水）～3月2日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<http://www.wsew.jp/>

◆リードエグジビジョンジャパン（株）「スマートエネルギー

Week 2018 内『第3回国際バイオマス発電展』

月日 2018年2月28日(水)～3月2日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<http://www.bm-expo.jp/>

◆(一社)日本木材学会「第68回日本木材学会大会(京都大会)」

月日 2018年3月14日(水)～16日(金)

場所 京都府立大学下鴨キャンパス、国立京都国際会館(両会場共、京都府京都市左京区)

<http://www.jwrs.org/wood2018/>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所平成29年度(後期)森林講座「香るサクラ」

月日 2018年3月17日(土)

場所 多摩森林科学園 森の科学館(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2017/20170906shinrinkouza/index.html>

◆(一社)日本森林学会「第129回日本森林学会大会」

月日 2018年3月26日(月)～29日(木)

場所 高知市内および高知大学(高知)

<https://www.forestry.jp/meeting/>

◎リード エグジビション ジャパン「第2回関西次世代農業EXPO～植物工場・ITなどの最新技術展～」

月日 2018年5月9日(水)～11日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.agri-next.jp/kansai/>

◎CMT「9th Biomass Pellets Trade & Power 第9回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

月日 2018年5月14日(月)～17日(木)

場所 東京マリオットホテル(東京都品川区)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180501&>

◆リードエグジビションジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.wsew.jp/>

◆リードエグジビションジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018内『第3回 関西バイオマス発電展』」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)

<http://www.bm-kansai.jp/ja/Home/>

4. イベント情報(海外)

◆Agri-Food Waste Day Conference

月日 2018年10月17日(火)

場所 ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/home>

◆Argus Biofuels 2017

月日 2017年10月17日(火)～19日(木)

場所 ロンドン(UK)

<http://www.argusmedia.com/events/argus-events/europe/argus-euro-biofuels/>

◆BIOGAS & WASTE TO ENERGY THAILAND FORUM 2017

月日 2017年10月17日(火)～19日(木)

場所 バンコク(タイ)

http://www.icesn.com/biowte_thai2017/

◆INTERNATIONAL BIOMASS CONFERENCE MALAYSIA 2017

月日 2017年10月19日(木)～20日(金)

場所 クチン(マレーシア)

<http://www.ibcm.my/>

◆Environment and Energy 2017

月日 2017年10月19日(木)～22日(日)

場所 リガ(ラトビア)

http://www.bt1.lv/ee/things/tematikaVE17_eng.pdf

◆RENEXPO Poland

月日 2017年10月25日(水)～27日(金)

場所 ワルシャワ（ポーランド）

<http://www.renexpo-warsaw.com/index.php?id=7&L=1>

◆2nd Starch World Europe

月日 2017年10月30日（月）～31日（火）

場所 ブタペスト（ハンガリー）

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=171019&>

◆ECOMONDO

月日 2017年11月7日（火）～10日（金）

場所 リミニ（イタリア）

<http://www.ecomondo.com/>

◆European Biomass to Power

月日 2017年11月8日（水）～9日（木）

場所 オーフス（デンマーク）

<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆RENEXPO® BiH

月日 2017年11月8日（水）～9日（木）

場所 サラエボ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

<http://www.renexpo-bih.com/index.php?id=7&L=1>

◆Exploring export opportunities for waste/residue-based raw materials and biofuels - Traceable and secure supply chains with ISCC certification

月日 2017年11月13日（月）

場所 上海（中国）

<https://www.iscc-system.org/event/exploring-export-opportunities-for-wasteresidue-based-raw-materials-and-biofuels-traceable-and-secure-supply-chains-with-iscc-certification/>

◆Future of Biogas Europe 2017

月日 2017年11月15日（水）～16日（木）

場所 ロンドン（UK）

<http://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

◆Bioenergy Australia Annual Conference 2017

月日 2017年11月20日（月）～23日（木）

場所 シドニー（オーストラリア）

<http://www.bioenergyaustralia.org/>

◎European Bioenergy Future, 2017 AEBIOM Conference

月日 2017年11月21日（火）～22日（水）

場所 ブリュッセル（ベルギー）

<http://www.conference.aebiom.org/>

◎The Black Pellets Workshop

月日 2017年11月21日（火）

場所 ブリュッセル（ベルギー）

http://www.biomassstorrefaction.org/ibtc_events/907/

◆Energy from Waste

月日 2017年12月6日（水）～7日（木）

場所 ロンドン（UK）

<http://www.smi-online.co.uk/energy/uk/energy-from-waste>

◆ADBA National Conference 2017

月日 2017年12月7日（木）

場所 ロンドン（UK）

<http://adbioresources.org/events/adba-national-conference-2017/>

◆BIOGAS Convention & Trade Fair

月日 2017年12月12日（火）～14日（木）

場所 ニュルンベルク（ドイツ）

<http://www.biogas-convention.com/en/>

◎Asia Renewables 2018 - 4th Biomass & Bioenergy Asia

月日 2018年1月17日（水）～19日（金）

場所 ホーチミン市（ベトナム）

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180104a&>

◆Asia Renewables 2018 - Vietnam Renewable Power

月日 2018年1月18日（木）～19日（金）

場所 ホーチミン市（ベトナム）

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180104b&>

◆FUELS OF THE FUTURE 15th International Conference on Renewable Mobility

月日 2018年1月22日（月）～23日（火）

場所 ベルリン (ドイツ)

<http://www.fuels-of-the-future.com/>

◆7th Starch World ASIA

月日 2018年1月23日(火)～25日(木)

場所 シェムリアップ(カンボジア)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180105&>

◎Mapping the Course: Timberland, Forest Products Processing, and Fiber Issues for 2018

月日 2018年1月24日(水)～25日(木)

場所 ワシントン州バンクーバー(USA)

<http://westernforestry.org/upcoming-conferences/mapping-the-course-timberland-forest-products-processing-and-fiber-issues-for-2018>

◎3rd Biomass Trade & Power Europe

月日 2018年2月7日(水)～8日(木)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180203&>

◆LIGNOFUELS 2018 Advanced Biofuels & Materials Conference

月日 2018年2月7日(水)～8日(木)

場所 アムステルダム(オランダ)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/lignocellulosic-fuel-conference-europe/>

◆Biogaz Europe 2018

月日 2018年2月7日(水)～8日(木)

場所 ナント(フランス)

http://en.biogaz-europe.com/Why-exhibit_527.html

◆2018 IrBEA National Conference - Bioenergy Future Ireland

月日 2018年2月21日(水)

場所 ダブリン(アイルランド)

<http://www.aebiom.org/events/irbea-national-conference/>

◎World Sustainable Energy Days 2018 – European Pellet Conference 2018–

月日 2018年2月28日(水)～3月1日(木)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/programme/european-pellet-conference.html>

◎World Sustainable Energy Days 2018 – Young Energy Researchers Conference “Energy Efficiency & Biomass” –

月日 2018年2月28日(水)～3月1日(木)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/programme/young-energy-researchers.html>

◎World Sustainable Energy Days 2018

月日 2018年2月28日(水)～3月2日(金)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◆ECO-BIO 2018

月日 2018年3月4日(日)～7日(水)

場所 ダブリン(アイルランド)

<https://www.elsevier.com/events/conferences/eco-bio>

◎BOIS ENERGIE 2018

月日 2018年3月15日(木)～18日(日)

場所 グルノーブル(フランス)

<http://www.boisenergie.com/>

◆WORLD BIO MARKETS

月日 2018年3月20日(火)～22日(木)

場所 アムステルダム(オランダ)

<https://www.biobasedworldnews.com/events/world-bio-markets>

◎VICTAM ASIA 2018

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 バンコク(タイ)

<https://victamasias.com/>

◆Energy Efficiency and Renewable Energy 14th South-East European Exhibition

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/ee-re-exhibition>

◆9th Waste Management & Recycling South- e ast European Exhibition

月日 2018年3月27日(火)～29日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/waste-management-recycling-exhibition>

◆GASIFICATION 2018

月日 2018年3月28日(水)～29日(木)

場所 フランクフルト(ドイツ)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

◎11th Annual International Biomass Conference & Expo

月日 2018年4月16日(月)～18日(水)

場所 ジョージア州アトランタ(USA)

<http://www.biomassconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◎Argus Biomass 2018

月日 2018年4月17日(火)～19日(木)

場所 ロンドン(UK)

<http://www.argusmedia.com/events/argus-events/europe/argus-euro-biomass/home/>

◆BIOGAS ASIA PASIFIC FORUM 2018

月日 2018年4月18日(水)～20日(金)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<http://www.icesn.com/>

◆All-Energy Exhibition and Conference 2018

月日 2018年5月2日(水)～3日(木)

場所 グラスゴー(イギリス)

www.all-energy.co.uk

◎EUBCE 2018 26th European Biomass Conference & Exhibition

月日 2018年5月14日(月)～18日(金)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<http://www.eubce.com/home.html>

5. ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

□: ストーブ

■: ストーブ・ボイラ共

【福島県】

□会津美里町「会津美里町ペレットストーブ等購入設置事業補助金」

http://www.1.g-reiki.net/aizumisato/reiki_honbun/c592RG00001132.html

【茨木県】

■大子町「薪ストーブ等設置費補助金」

<http://www.town.daigo.ibaraki.jp/page/page002843.html>

6. 公募等情報(締切順)

◇新潟県「新潟県地域再生可能エネルギー一面の活用促進事業補助金」

提出期限 2017年10月18日(水)

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356869322536.html>

[ml](#)

◇滋賀県湖南市【公募型プロポーザル方式】「湖南市木質バイオマス再生可能エネルギー導入策定業務の提案者を募集します」

提出期限 2017年10月18日(水)

<http://www.city.konan.shiga.jp/cgi/info.php?ZID=24038>

◇新潟県「新潟県新エネルギー産業参入・育成促進事業補助金」

提出期限 2017年10月18日(水)

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356869322536.html>

◇徳島県「条件付き一般競争入札『バイオマスペレット製造器

一式』

応札仕様書等の提出期限 2017年10月19日(木)

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2017100200184/>

◇経産省四国経済産業局「平成29年度四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議における『支援プロジェクト』の募集について」

申込期限 2017年10月20日(金)

http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_d2/2_koubo/170829/170829.html

◇北海道地方環境事務所 一般競争入札「平成29年度ペレットストーブに係る燃料(木質ペレット)購入」

入札参加表明書提出期限 2017年10月20日(金)

開札日時 2017年10月25日(水)

http://hokkaido.env.go.jp/procure/2017/29_39.html

◇三井物産環境基金「2017年度研究助成案件募集について」

応募締切 2017年10月21日(土)

http://www.mitsui.com/jp/ja/release/2017/1224150_10838.html

◇環境省「平成29年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業の三次公募について」

公募期間:2017年10月2日(月)~10月23日(月)

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/29_a46/29co2.html

◇(一社)環境技術普及促進協会「平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業)の三次公募のお知らせ」

公募期間 2017年10月2日(月)~10月24日(火)

http://www.eta.or.jp/offering/17_2_1co2/171002.php

◇兵庫県「森林大学校平成30年4月入学者の募集について」

願書受付(推薦入試)2017年10月10日(火)~10月27日(金)

(一般入試)2017年11月13日(月)~12月1日(金)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/moridai2017_2.html

◇奈良県「再生可能エネルギー活用調査支援事業」

募集期間 2017年4月20日(木)~10月31日(火)

<http://www.pref.nara.jp/43635.htm>

◇(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団「2017年度『環境保全プロジェクト助成』」

募集期間 2017年9月4日(月)~2017年10月31日(火)

<http://sjnkef.org/project/index.html>

◇NEDO「平成29年度『ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業(旧:新エネルギーベンチャー技術革新事業)』に係る第二回公募について」

公募期間 2017年10月6日(金)~11月6日(月)

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100160.html

◇高知県立林業大学校専攻課程「木造設計コース」研修生の募集 2018年4月開講)

一般前期試験申請期間 2017年10月30日(月)~11月24日(金)

一般前期選考日 2017年12月2日(土)

一般後期試験申請期間 2018年1月22日(月)~2月16日(金)

一般後期選考日 2018年2月24日(土)

<https://kochi-forestry.ac.jp/news/%e5%b0%82%e6%94%bb%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%80%8c%e6%9c%a8%e9%80%a0%e8%a8%ad%e8%a8%88%e3%82%b3%e3%83%bc%e3%82%b9%e3%80%8d%e3%81%ae%e7%b4%b9%e4%bb%8b/>

◇宮城県仙台市「民間防災拠点施設への再生可能エネルギー等導入補助」

募集期間 2017年5月1日(月)~11月30日(木)

<http://www.city.sendai.jp/kankyo/jigyosha/kankyo/hozen/kobo.html>

◇セブン-イレブン記念財団「2018年度環境市民活動助成」

募集期間 2017年11月1日(水)~2017年11月30日(木)

<http://www.7midori.org/josei/index.html>

◇和歌山県「平成29年度和歌山県木質バイオマス発電推進事業費補助金の募集について」

募集期間 第2次締切:2017年10月10日(火)~12月7日

日（木）

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/mokushitsu.html>

◇埼玉県「【平成 29 年度】埼玉県分散型エネルギー活用設備整備費補助金」

公募期間 2017 年 6 月 1 日（木）～12 月 22 日（金）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsangata-hozyo.html>

◇宮崎県「平成 30 年度『みやざき林業青年アカデミー』研修生の募集について」

1 次募集締切 2017 年 12 月 26 日（火）

2 次募集締切 2018 年 3 月 2 日（金）

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/shinrin-keiei/shigoto/ringyo/20170917125530.html>

◇奈良県「事業所再生可能エネルギー等熱利用促進事業補助金」

募集期間 2017 年 5 月 10 日（水）～12 月 28 日（木）

<http://www.pref.nara.jp/36244.htm>

◇KFWA 九州薪・木質ペレット活用協議会「火のある暮らしフォトコンテスト」

応募期間 2017 年 8 月 25 日（金）～12 月 31 日（日）

http://www.asoict.jp/info/details.php?int_key=215

◇東京都「地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業」申請受付開始のお知らせ

申請期間 2017 年 5 月 31 日（水）～2018 年 1 月 31 日（水）

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/05/11/08.html>

◇神奈川県川崎市「平成 29 年度市内事業者エコ化支援事業」

募集期間 ～2018 年 1 月 31 日（水）

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000013853.html>

◇鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2017 年 4 月 1 日（土）～2018 年 2 月 28 日（水）

<http://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

◇長野県諏訪市「平成 29 年度再生可能エネルギー等導入設置

補助金」

申請受付 2017 年 4 月 3 日（月）～2018 年 3 月末

<http://www.city.suwa.lg.jp/www/service/detail.jsp?id=8470>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

申請期間 2015 年 10 月 1 日（木）～2021 年 3 月 31 日（水）

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/nintaiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014 年度～2023 年度までの 10 年間

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/cat8849/

◇新潟県柏崎市「柏崎市 EC02 プロジェクト」

<http://www.city.kashiwazaki.lg.jp/ondan/machi/kankyo/eco2/ondanka.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouse-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金」

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010112200159/files/H29yuushi.pdf>

※融資制度

◇資源エネルギー庁「グリーン投資減税が施行されました」

http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/green_tax/greensite/green/index.html

※「木質バイオマス発電設備（2 万 kW 未満）」と「木質バイオマス熱供給設備（160GJ/h 未満）」が税制優遇を受けられるようになりました。